

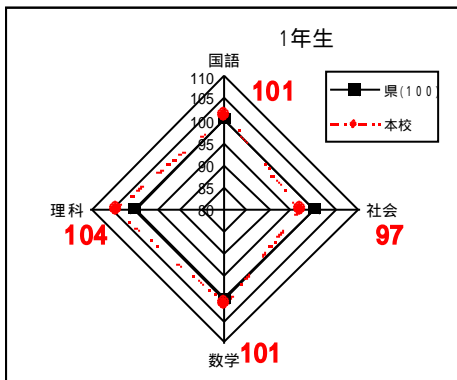
- 1 目 標** 確かな学力の定着を目指した指導方法の工夫・改善を図る。
- 2 実践目標** (1) 校内研究の充実を図り、指導方法の工夫・改善に努める。  
 (2) 全教員が研究授業を実施する。  
 (3) 学習意欲を喚起する取り組みを行う。
- 3 成果目標** (1) 基礎・基本の定着をしっかりと図り、全国学力学習状況調査及び学習状況調査が全国平均、県平均を上回る。  
 (2) 生徒が「させられる学習」から「自ら取り組む学習」に意識を変え、意欲的に取り組む。  
 (3) 家庭と連携し、家庭学習の習慣化が図られる。

**4 現状と課題**

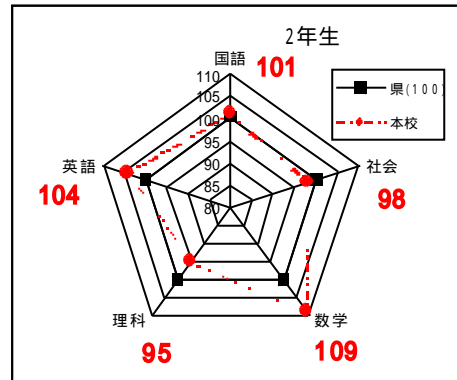
今年度4月実施の佐賀県学習状況調査において、1年生では全教科にわたって市の平均は上回っていた。また、県と比較して、理科が4ポイント高く、社会が3ポイント低いもののどの教科もほぼ県平均であった。また、2年生でも、全教科、市の平均は上回っていた。県との比較では、数学が平均を9ポイント、英語が4ポイント上回り、社会及び理科は下回っていた。3年生においては、社会、数学、英語で市の平均は上回っていたが、どの教科も県平均は下回っていた。(図1・図2・図3)

基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得や学力向上の側面からの支えとなる人間関係の構築、学習意欲の向上、家庭学習の習慣化等が、今年度の喫緊の課題である。

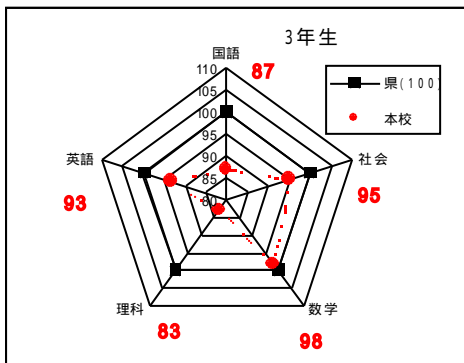
(1) 佐賀県学習状況調査(1年生)図1



(2) 佐賀県学習状況調査(2年生)図2



(3) 佐賀県学習状況調査(3年生)図3



数値は、県の平均を基準(100)として

## 5 数値目標

### (1) 1年生 佐賀県学習状況調査

教科	国語	社会	数学	理科
目標	県平均+5	県平均+3	県平均+5	県平均+6

### (2) 2年生 佐賀県学習状況調査

教科	国語	社会	数学	理科	英語
目標	県平均+5	県平均+3	県平均+10	県平均+2	県平均+6

### (3) 3年生 全国学力・学習状況調査

教科	国語A	国語B	数学A	数学B
目標	全国平均+2	全国平均+2	全国平均+2	全国平均+2

## 6 アクションⅠ 確かな学力の定着を図る授業づくりの取組

### (1) 指導方法の研究

授業公開（指導案検討会・授業研究会）の実施  
少人数指導やTTなどの指導形態を生かした授業展開の工夫  
基礎学力を高めるための学び合い、高め合う授業の研究  
教え合い学習（グループ学習）の実施  
言語力を重視した授業の組み立ての工夫

### (2) 基本的学習習慣の確立〔学びのルール4項目の徹底〕

- ・「準備しよう 次の時間の教科書を」
- ・「あいさつは 大きな声で 元気よく」
- ・「聞く態度 考えながら よい姿勢」
- ・「発言は 聞こえるように はっきりと」

## 7 アクションⅡ 「学力向上」を図るための取組

### (1) 授業以外での学校における学力向上のための方策

朝読書の励行  
朝の学習トレーニング（国・社・数・理・英）の実施  
毎日の課題、週末課題の取組及び添削  
自学ノートの徹底  
長期休業中の取組  
データ分析とその活用  
唐津市基礎学力テストへの取組

## 8 アクションⅢ 「連携」を中心とした取組

### (1) 小学校との連携の推進

小中連携研修会の実施  
情報交換会の実施  
公開授業の実施  
学習規律や生活規律等の小中共同指導項目の確認と実施  
長期休業中における学習指導

### (2) 家庭・地域との連携の推進

学校公開の促進  
家庭学習の習慣化の取組